製品カタログ

ダイプレクサ

RF ダイプレクサは共通ポートを介して二つの周波数帯を合成・分離します。周波数で信号を振り分け、分岐損失、ポート間分離、帯域間の遷移特性で使用範囲が決まります。



製品: 4

改訂: 4 · 改訂日: 2026-11-21

LCDIP-L-1100-1600-H-2000-18000

SMA-K ダイプレクサ

共通ポートは COM です。L の通過帯域は 1100–1600 MHz、H は 2000–18000 MHz です。

RF 共通ポート: 値: COM

通過帯域 L: 値: 1100–1600 MHz; 単位: MHz

通過帯域 H: 値: 2000–18000 MHz; 単位: MHz

クロスオーバー周波数: 値: 1800 MHz ±5%; 注記: +25 °C; 単位: MHz

製品詳細　製品データシート

LCDIP-L-DC-2000-H-3000-18000

SMA-K ダイプレクサ

SMA-K ダイプレクサ。共通ポートは COM、通過帯域は L が DC–2000 MHz、H が 3000–18000 MHz です。

RF 共通ポート: 値: COM

通過帯域 L: 値: DC–2000 MHz; 単位: MHz

通過帯域 H: 値: 3000–18000 MHz; 単位: MHz

挿入損失: 値: <1.5 dB; 単位: dB

製品詳細　製品データシート

LCDIP-P2-130-180-P3-280-300

SMA-F ダイプレクサ

ANT は共通ポートです。P2 は 130–180 MHz、P3 は 280–300 MHz に対応します。

共通ポート: 値: ANT

通過帯域 P2: 値: 130–180 MHz; 単位: MHz

通過帯域 P3: 値: 280–300 MHz; 単位: MHz

通過帯域内挿入損失: 値: ≤1.0 dB; 単位: dB

製品詳細　製品データシート

LCDIP-P2-3000-5000-P3-10000-13000-IL1p5MAX

2帯域ダイプレクサ · 3000–5000 / 10000–13000 MHz

共通の COM コネクタは、3000–5000 MHz の P2 と 10000–13000 MHz の P3 に接続します。

通過帯域 P2: 値: 3000–5000 MHz; 単位: MHz

通過帯域 P3: 値: 10000–13000 MHz; 単位: MHz

通過帯域内挿入損失 P2: 値: ≤ 1.5 dB; 注記: 3000–5000 MHz; 単位: dB

通過帯域内挿入損失 P3: 値: ≤ 1.5 dB; 注記: 10000–13000 MHz; 単位: dB

製品詳細　製品データシート

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。